

農山漁村地域整備計画事前評価シート

- 【計画の名称】 富士宮市農業集落排水処理施設最適整備構想
- 【計画策定主体】 静岡県富士宮市
- 【計画期間】 平成31年度（1年間）
- 【計画の目標】 既存の農業集落排水処理施設（1施設）の機能低下等の状況を的確に把握（施設機能診断）し、施設の有効活用とライフサイクルコストの低減及び長寿命化を図り効率的な維持管理を行えるよう最適整備構想を策定し、安定した生活排水処理を行う。
- 【評価指標】 富士宮市1施設（上長貫）を対象とした最適整備構想を策定し、安定した生活排水処理を行い放流水質の維持を図る。
- | | | |
|------|-----------------|-------------|
| 放流水質 | 生物化学的酸素要求量（BOD） | 20mg/ℓ以下の維持 |
| | 浮遊物質（SS） | 50mg/ℓ以下の維持 |

I. 目標の妥当性	（評価内容）
①関連する計画との整合性	静岡県生活排水処理長期計画や富士宮市一般廃棄物処理基本計画等の上位計画との整合が図られている
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	農業集落排水処理施設の適正な管理を目標としている
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	ライフサイクルコストの低減及び効率的な維持管理を行うため、最適整備構想を策定する
②指標の事後評価の妥当性（事後評価ができる適切な指標）	事業完了時に、水質調査を確認することで事後評価が可能
③指標の妥当性（構成事業の実施による効果を評価するに当たり適切な指標）	最適整備構想を策定することにより、施設の有効利用、長寿命化が図られ、放流水質の維持が図られる
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	富士宮市の推進体制が整備されており、円滑な事業実施が可能である
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	地元住民は安定した生活排水処理を望んでおり、最適整備構想の策定は不可欠である